

令和5年度 山口県学力定着状況確認問題の結果について 【小学校】

下松市教育委員会

1 結果の公表 にあたって

令和5年度「山口県学力定着状況確認問題」は、児童生徒の学力の状況や生活習慣、学習環境の状況を調査し、県内すべての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図ることを目的として実施されました。また、昨年度に引き続き、1人1台端末（タブレット）を使用した方式での実施となりました。

今回の結果をもとにして、本市におきましても、引き続き、学校と家庭・地域が連携・協働し一体となった取組を推進してまいりたいと考えておりますので、御協力をお願いします。

○ 実施期日

- ・令和5年10月16日（月）～10月18日（水）小学校6年、中学校2年
- ・令和5年10月18日（水）～10月20日（金）小学校5年、中学校1年

○ 実施内容

小学校5、6年生 国語、算数

中学校1、2年生 国語、数学（※中学校2年生は英語も実施）



2 教科に関する 問題の結果 について

【国語】 5年生は県平均正答率を下回っており、6年生は上回っている。

【算数】 5年生は県平均正答率を下回っており、6年生はほぼ同程度である。

→ 5、6年生ともに、国語、算数において、基礎的な問題や記述式問題に課題が見られました。今後は、「基礎的な内容を確実に習得する」「考えを書く、理由や方法を説明する」等の学習に取り組む場面を増やす必要があります。授業や家庭学習を通じて、児童の学力の向上を図ります。

◎（市平均正答率の高かった問題）

▲（市平均正答率の低かった問題）

◎ 漢字を正しく読んだり書いたりすること（5年、6年）

◎ 自分の考えが伝わるように、書き表し方の工夫を見付けること（6年）

◎ 段落相互の関係をとらえること（6年）

▲ 文中における主語、述語、被修飾語をとらえること（5年、6年）

▲ 目的や意図に応じ、取材内容をもとにして、自分の考えをまとめること（5年）



国語

◎ 伴って変わる二つの数量の変化や特徴をとらえ、答えを求めること（5年）

◎ 比較量と基準量を使って、割合を求める式を立てること（6年）

◎ 小数＋小数の計算をすること（5年、6年）

▲ 整数－小数の計算をすること（5年）

▲ 整数÷小数の計算をし、あまりを正しく求めること（5・6年）

▲ 量が変わっても、割合は変わらないことを理解していること（6年）



算数

3 課題の見られた問題例

国語 文中における被修飾語や主語、述語を捉える問題 【5年】

2 〈インタビューの様子〉

川田 もともと花が好きということがあります。たとえば、小さなビオラの花が、寒さの中でも **力強く** B けなげにさくすがたには、勇気づけられます。でも、一番の理由は、やはり喜んでくれる人がいるからですね。… (略) …

遠山 そうそう。花を見ることで、優しい気持ちになったり、… (略) … これからもわたしたちは、花いっぱい公園になるように、世話を続けていきます C。

(2) 部Bの「力強く」がくわしく説明している言葉として最も適切なものを、次の中から一つ選びましょう。

ビオラの花 さく すがた 勇気づけられます

(3) 部Cの「続けていきます」の主語として最も適切なものを、次の中から一つ選びましょう。

これからも わたしたちは 公園に 世話を

※ (2) (3) とも県平均正答率を上回りましたが、市の平均正答率が (2) 35%、(3) 28%で、あまり定着していないことがわかりました。

算数 量が変わっても、割合は変わらないことに関する問題 【6年】

4 (4)

別の日、みなみさんの家に、ひでかずさんとめいさんが遊びに来ました。そこで、みなみさんは、600mL入りの果汁30%のジュースを3人で分けて飲むことにしました。

<みなみさん> 果汁30%だから、3人で分けると、1人分の果汁の割合はどうなるのだろう。

600mLを3人で分けると1人分は200mLになるね。このとき、()。

<ひでかずさん>

()にあてはまる適切な文を、下から1つ選びましょう。

- 飲み物の量が1/3になると、果汁の割合も1/3になります。
- 飲み物の量が1/3になっても、果汁の割合は変わりません。
- 飲み物の量が1/3になると、果汁の割合は3倍になります。

※ 県平均を下回り、38%の正答率でした。

4 今後の取組

★ **学 校**

- 学校の組織的取組の強化
(学力向上プランの重点化、教科・学年の枠を超えた研修の推進等)
- 児童生徒が学習を振り返りながら、学力の向上を図る授業改善
(誤答分析を生かした授業改善、「キラリくだまつ授業づくり」の活用等)
- 校内研修の活性化と指導の充実
(「育成すべき資質・能力を確実に育む授業改善、「やまぐち学習支援プログラム」の活用、個に応じた補充学習等)

★ **家庭・地域**

- 学習・生活習慣の確立
(「家庭学習の手引き」等の活用、家庭における生活習慣の見直し等)
- コミュニティ・スクール、やまぐち型地域連携教育の仕組みを生かした学習支援
(地域の人材を活用した授業や取組等)

★ **下松市教育委員会**

- 「キラリくだまつ授業づくり」に基づいた授業改善の推進
- 授業における「振り返り」活動の推進
- 課題と考えられる状況等の情報提供
- 学校訪問等による指導・助言
- 「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりに関する指導・助言